

一般財団法人 バッハの森は、宗教音楽の響きに感動を探し求める、全ての方々にひらかれた文化施設です。創設者の故石田友雄、一子ご夫妻は、この目的のために私財を投じ、つくば市の東光台に、木造建築で天井高12メートルを超える記念奏楽堂と、20世紀の歴史的名工、ユルゲン・アーレントに建造を依頼した19個ストップのパイプ・オルガンなどを次世代に残されました。

今年は創立から数えて40年の年になります。

ここに、2025年9月から開講するオルガン関連のプログラムをご紹介します。

このほか、バッハの森では、このオルガンの伴奏で歌う混声合唱の活動、コラールとカンタータを学ぶ会、ハンドベルの活動、チェンバロ、クラヴィコード教室などを展開しておりますので、詳しくは、バッハの森のホームページからご確認ください。



バッハの森で学ぶ

主催 ■ 一般財団法人 バッハの森



●オルガン音楽研究会●

金曜クラス (全5回)

公開試演会候補日 12月6日 (土)

日時 ■ 9月19日、10月3日、17日、31日、11月14日の金曜日10:30~12:00

内容 ■ J.S.バッハの《オルゲルビューツライン》より自由選択曲、または、手鍵盤の作品を、お互いに弾き合い、聴き合う会。コラールに基づく作品の場合には、オリジナルのドイツ語または邦訳の歌詞をつけて歌い、その内容を理解してから、作品の演奏に臨みます。

定員 ■ 演奏者は各回5名まで。聴講可能。

講師 ■ 宮本 とも子

会費 ■ (各1回、実技・聴講共) 一般 ¥5,000、バッハの森の会員 ¥3,000

土曜クラス (全8回)

公開試演会候補日 12月6日 (土)

日時 ■ 9月20日、27日、10月4日、18日、25日、11月8日、15日、29日の土曜日 10:30~12:00

内容 ■ J.S.バッハの《ライブツィヒ・コラール》を取り上げ、お互いに弾き合い、聴き合う会。参考文献としては、以下の書籍を用い、長門石 幸子講師の邦訳で学ぶ。
J.S. Bach's "Leipzig" Chorale Preludes: Music, Text, Theology-Anne Leahy, 編集Robin A. Leaver. (2011年出版)

定員 ■ 演奏者は各回5名以内。聴講可能。

講師 ■ 長門石 幸子、宮本 とも子

会費 ■ (各1回、実技・聴講共) 一般 ¥5,000、バッハの森の会員 ¥3,000

●ピアニストのためのパイプ・オルガン体験プログラム●

日時 ■ 講師との相談 完全予約制 一枠90分

内容 ■ J.S.バッハのフーガをオルガンで弾いてみましょう!

定員 ■ 一枠につき、1名~6名でお申し込みいただけます。

講師 ■ 宮本 とも子

会費 ■ ¥12,000

オルガン音楽研究会等へ参加をご検討いただく場合には、事前に、お名前、ご住所、短く音楽歴を記載の上、「バッハの森オルガン担当 宛」に以下のメールアドレスよりお申し込みください。

バッハの森 事務局 Project.BachGrove@gmail.com

皆様方のご参加を心よりお待ちしております。